

A群溶血性連鎖球菌咽頭炎 の流行について

根室保健所

A群溶血性連鎖球菌咽頭炎とは？

A群溶血性連鎖球菌の感染によって引き起こされる、高熱・咽頭痛・嘔吐を主症状とする感染症です。

年間を通じて発生しますが、特に春から夏、及び冬季に流行し、大人もかかりますが、特に小児に多い病気です。

- 突然の発熱（38℃以上の高熱）、のどの痛み、リンパ節の腫れ、嘔吐や腹痛などの症状がみられます。舌が腫れ、イチゴのような赤い粒々ができる「イチゴ舌」がみられる場合もあります。
- 一般的に、症状は3～5日でおさまり、1週間以内に症状は改善しますが、肺炎や髄膜炎を起こす場合があります。
- まれに重症化し、のどや舌、全身に発赤が広がる「猩紅熱（しょうこうねつ）」となることがあります。
- 数週間後までに、リウマチ熱や急性糸球体腎炎などの合併症をおこす場合がありますので、咽頭炎の治癒後も、健康状態に注意してください。

予防法は？

- 特別な予防法はありません。
- せきやくしゃみ、つばなどに含まれた細菌によって感染します（飛沫感染）。また、患者の手についた細菌が、食品や物を介して口に入って感染する（経口感染）こともありますので、外出後のうがい、手洗いを徹底しましょう。
- 家庭内感染が起こりやすいので、患者との濃厚な接触を避け、タオルなどを共用することも避けてください。
- 他の人にうつさないためにマスクの着用、咳エチケットを心がけましょう。

かかってしまったら？

- 抗菌剤による治療が基本となります。合併症を防ぐために、症状が改善しても主治医の指示に従って薬を飲むことが大切です。
- のどが痛い場合は、食事を取りやすいよう、やわらかく、薄味の食事を工夫し、水分補給を心がけましょう。
- 熱が下がらない、咳がひどくなる、元気がない、むくんでいるように見えるような場合など合併症が疑われる場合は、すぐ医療機関へ相談してください。



【問い合わせ先】

根室保健所 健康推進課保健予防係

住所：根室市弥栄町2丁目1番地

電話：0153-23-5161